



▲『地の魚』岡村桂三郎氏 (龍興寺)



▲『山犬様相思相愛』小松美羽氏 (旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷)



▲『大舞虎』金子富之氏 (常宣寺)
▲『風月の松』岩根愛氏 (コミュニティ・カフェEMANON)



▲各アーティストが制作した『アートだるま』 (本町銀座商店街)

風月
芸術祭「白河」

9月26日から開催された風月の芸術祭。本市の歴史・文化を基盤に「祈」をテーマとしただるまや絵画、写真などさまざまな現代アートがまちなかを彩りました。各作品は、ホームページで公開しています。



▲芸術祭メインテーマの「祈」千葉清藍氏



話題レポート

市長と語る「しらかわ未来フォーラム」

市内の中学生と市長が、市政の現状などについて直接懇談しました。同フォーラムは今年で5回目です。各中学校でテーマを決め、まちづくり、子育て・高齢者支援、少子化・防災対策などをそれぞれの視点で調べ、工夫を凝らした形式で発表し、意見交換しました。

続けて行われた講話で市長は、白河には都会にない誇るべき豊かな自然・歴史・文化があると話しました。コロナ禍によって地方の魅力が見直される中、将来また白河に戻ってきてほしいと生徒に語りかけました。

生徒はフォーラムを通して、将来の白河を担う市民としての自覚を高め、郷土愛を育みました。また、五箇中・東北中・表郷中では、ともに給食を食べ、交流を深めました。



白河市
『思いやり条例』施行開始
お互い様の気持ちで誰かを救おう

例えばコロナに感染してしまった時
萎縮せず、過ごしややすい街に支え合
える社会に
※この条例はあらゆる差別、助辞中傷を無くすために施行されます。

代わろう
休みます
ああ、良いよ
距離を取ろう
謝るな
申し訳ない

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染者に対する誹謗中傷や差別的な扱いなどが、全国的に深刻な問題となっています。不当な差別などによる社会的な孤立をなくし、市民一人ひとりが思いやりの心を持ち、互いに支え合う住みよい地域社会を実現するため「白河市思いやり条例」を令和2年10月7日に施行しました。

この条例は、子どもから大人まで市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、不当な差別を防止・解消するため、市民の皆さんと市が共に取り組む姿勢を明らかにしたものです。

●本庁舎市民課 内2283

「白河市思いやり条例」が制定されました